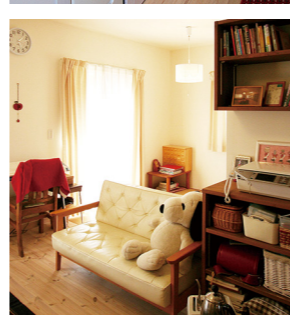


年を重ね暮らすほどに好きが増えていく自然なお家



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.006
カムホームストーリー
高知市・Iさま邸
(大津ひなたタウン)
竣工:2010年7月
設計担当:岡本 理絵



手のぬくもりを感じる家

当時暮らしていた一軒家は立地条件が悪く、子供さんの成長とともに引越しを考えていた頃、たまたま見たk+を機に見学会へ出かけたというIさま。大ききにも金額的にも、大きなハウスメーカーの家と違った現実的な家が印象的だったと言います。旦那さまは「社長さんらしくない社長さんでしたが(笑)、いろんな話をする中で任せて安心できそう、信頼できそうだと感じました」と和んだ雰囲気でお話を続けます。当初から自然な家の雰囲気を気に入ってくださっていたIさま。無垢材の床は色褪せたり傷もつきますが、全然気にならずこの自然な感じがいと日々味わいが深まる家に愛着も増しているようでした。床の色はホワイト、家具などはすべてオリーブ色でシンプルに2色の色使い。優しい雰囲気に仕上げ、奥さま好みのナチュラルな素材や雑貨がよく合う内装もこだわりです。実際に暮らしてみて「ここにも棚をつくっておけば良かった」と思うこともありますが、それも自分たちで色を塗ったものをつけ加えたり、手のあとが残るものでも違和感なくそっとなじむのが自然素材の家。「キッチンの背面のところにもコーヒーカップの棚をつくりましたよ」と年を重ね暮らすほどに好きが増えていくIさまらしいお家になっているようでした。

家族のキズナを深める間取り

1階のリビングに畳コーナーを設けたことで、家族がゆっくりとくつろげる空間ができました。夏場と冬場はここで家族全員が集まりより添って寝ることが多いと言います。「小さくてもあって良かった」と声を揃えるご夫妻。できるだけ間仕切りを減らし、広く圧迫感のない空間になるように工夫もされていて、キッチンからも子供さんに目がとどき家族の様子が常に感じられる間取りになっています。ダイニングに設けたパソコンコーナーは、「まだ小さいうちは」と子供さんたちの勉強スペースになっています。姉妹でならんで本を広げても十分なスペースに、食卓を使わずにすむから助かると子供さんの成長を見守る親心をのぞかせました。洗面台と脱衣所を分けたことで、お客さまが来た時に視線が気になる洗濯物なども気にならず、いつでも手洗いができる動線の使いやすさに満足している様子。「これはもう絶対しておいて良かったです」と奥さまは話します。